

【ハイドロカット】

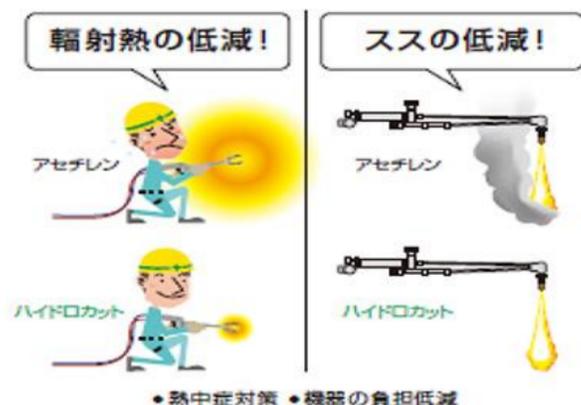
ハイドロカットは、燃焼時に二酸化炭素を発生しない、クリーンなガスとして注目されている水素ガスをベースに、炭化水素系ガスを混合し、より性能を高めた新開発の環境対応型溶断用混合ガスです。各種鋼材切断、ろう付け、一般加熱においても、従来のアセチレンと同様に使用することが可能です。



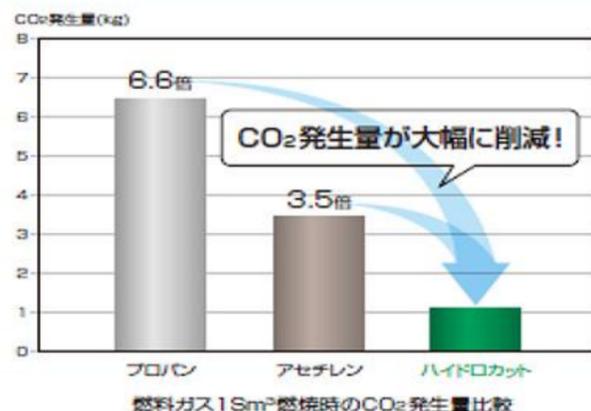
ハイドロカット用47リットルシームレス容器

- ① 混合ガスの供給であるため、一般高圧ガス容器の中古容器の転用ができ、余剰容器の活用ができます。さらに、アセチレンでは不可能であった中型集結容器により、容器交換作業の安全性および作業性の改善もできます。アセチレンに変わるガスとなります。
- ② ハイドロカットは、アセチレンに比べて二酸化炭素排出量の84%・プロパンガスから65%削減が可能です。
- ③ 輻射熱が小さいため溶断作業中の作業者の暑さ軽減や、煤の発生がほとんどないことにより作業環境の改善が可能です。
- ④ 空気よりも軽いため滞留しにくく、逆火も起こりにくいため、安全性においても優れています。
- ⑤ 圧縮ガスであるため、アセチレンでは不可能であったガス残量管理が可能になり、在庫管理が容易になります。

作業性が向上



環境性が向上



●ハイドロカットの切断性

ハイドロカットはアセチレンと同様に切断面の品質も良好です(当社実験比)。軟鋼(SS400)表開先45° 板厚25mm 切断速度250mm/分



ハイドロカット切断面
(粗さ: Ra6.845 μm Rz38.340 μm)



アセチレン切断面
(粗さ: Ra6.992 μm Rz41.014 μm)

●専用機器

ハイドロカットには、専用の圧力調整器と乾式安全器(産業安全技術協会認定品)を必ずお使いください。



乾式安全器と圧力調整器



圧力調整器 YI-11



乾式安全器(認定品)HFC-1

DAIHEN

Almega Friendly series II
タブレットによる教示レスシステム

PHOTO TOUCH TEACH™



人手不足対策や生産性向上のために、新たにロボットを導入する際の特に重要な課題として、ロボットの教示に不慣れで、操作に時間がかかることが挙げられます。溶接用途であれば、最適な溶接姿勢が分からない、溶接狙い位置の調整が難しいといった課題があります。ロボット操作の慣れには時間がかかることも多くあり、ロボットの稼働が遅くなってしまいます。ダイヘンのタブレットによる教示レスシステムはその課題を解決します。



タッチセンサ機能で高精度位置補正

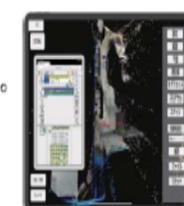
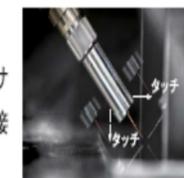
条件に合致した継手はプログラムへ自動挿入したタッチセンサ機能で位置補正が可能。ラフティーチングデータをアーク溶接に必要な高精度な位置データへと自動変換します。

適用が広がる画像合成機能

画像合成による3Dビューに対応。1回で撮影できなくても、複数枚を合成して溶接線情報を取得できます。

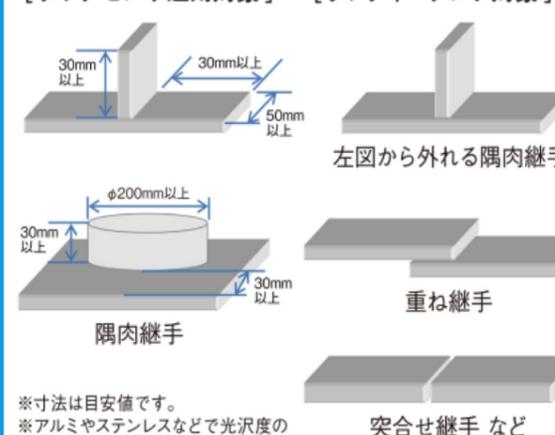
iPad上でプログラムを確認

ロボットと同期してiPad上にティーチングデータを表示。生成したプログラムの確認や編集ができます。



適用継手

[タッチセンサ適用対象] [ラフティーチング対象]



プログラム作成に要する時間を最大60%削減

“撮って選ぶだけ”でロボットプログラムを自動生成

市販品であるiPad Proを活用することで、安価なシステムを実現

専用視覚センサ不要で大幅なコストダウンを実現

制御装置FD19を用いたアーク溶接用途のダイヘンロボットに適用可能・ロボット教示によるプログラム作成を代替し、工数低減と脱技能化を実現